

まちづくりカフェとあさ第2回開催結果

■開催概要

＊目的～このワークショップは、地域住民を主人公とした持続可能な地域づくりの将来目標を描く地区別計画（協働実行プラン）の策定やそのプランの運営を行う地域運営組織の設立に向けた取り組みの一つに位置付けられています。そこで今後のプラン作りに反映してくために、少子高齢化や遠浅小学校閉校に伴うコミュニティ機能の低下などの課題について、地域住民同士が率直な意見交換をし、共有する。

＊参加状況

日 付	時 間	場 所	来場者	ワークショップ参加者
R6.9.19(木)	18:30～20:30	遠浅公民館	大人 12 名、 子ども 6 名	大人 12 名、 小学生 4 名

■次第「ワークショップはワールドカフェ方式で実施」

- ・チェックイン「自己紹介、いまの体調、お祭りの思い出」
- ・ワークショップ1「交流できる機会や場は必要ですか？不必要ですが？その理由は？」
- ・ワークショップ2「交流できる機会や場をつくるために何ができそうですか？何をしたいですか？」、「交流できる機会や場があると、どんな暮らしになると思いますか？」
- ・チェックアウト「今日印象に残ったこと」→1人1枚(A4サイズ)に書いて提出していただく

■各世代の代表者のコメント

子育て世代 Aさん

- ・子ども会や青年部などで活動している
- ・できる範囲での交流は必要だと思う。
- ・役員のお母さんたちが少なくて、ラジオ体操の実施自体が難しい

子ども代表 Bくん

- ・交流は必要だと思う。
- ・コロナや地震を経験して遠浅でも知らない人がいっぱいいる、

シニア世代 Cさん

- ・民生委員や福祉部をしている。高齢者を訪問すると外に出たい意欲のある方と、私はもういいという方がいる。そういった方をどうお誘いしたらよいか。
- ・先日、雑巾集めを依頼したときに若い人が来てくれてとてもうれしかった。
- ・ぜひ一人でも多くの若い人に参加してほしい。

■チェックアウト時の記入用紙から（抜粋）

- ・皆様が交流を持ちたがっていることが改めてわかった。（シニア世代）
- ・遠浅のコミュニティづくり「とあサークル」（子育て世代）
- ・歳をとってもあそこへ行けば楽しい。悩みを気軽に話せるような場があったらいい（子育て世代）
- ・交流の場へ積極的に参加していないと地域に取り残されてしまう。（シニア世代）
- ・子供産む前は地域のつながりは不要と思っていた。しかし、産んでから必要だと思った。（ミドル）
- ・交流＝楽しい場所づくり、人とのつながりが大切だと思いました。（子育て世代）
- ・秘密基地が欲しい→旧保育所で昔はお泊り防災キャンプ、菓子作りなど大人も子供も一緒に楽しめて楽しかった。（子ども世代）
- ・公民館をもっと有効に利用できる環境に！（子育て世代）
- ・子供たちに会ったら「こんにちは」、「おかえり」など挨拶、声かけを心掛けよう（シニア世代）
- ・公式ラインでもっと周知しよう（子育て世代）

■今後の流れ

- ・10月5日 第2回ワークショップ開催
- ・11月5日 全体報告会、プラン案の作成
- ・1月未定 地域運営組織体制について
- ・2月未定 地域運営組織体制について、今後のスケジュールについて
- ・2月未定 集落支援員の募集
- ・4月未定 地域運営組織の立ち上げ



子育て中にある?

特に交流が必要と感じた。

不安な生活、アドバイス

身近に知り合いがいないと実感

有識(1-2年)の中に入ると情報(地域)が入る。

35歳以上の人々には困るような

田舎にきて自治会の役員にならなくて

地域の困り事の解決のため

自治会の必要性を実感

→会費に呼ばれるだけ集まる。

人付き合いで、担当する。

→是れも交流が必要と気付いた。

→交流が必要と、困っている人々の情報

が交換できる。

学校地帯など

の集まりが減る。

子育てが終了し、人付き合いを始めてみる

思ふ、自治会に入った。代、世代が来る?

いまだ世代の交流が。

○1-2年以内は
自治会に入るべき
→学校など? 気になった

○近所づきあい、30代世代はあつり前、子育て世代は必要?
10代の世代になつて、何が出来るかわからない状況

○お隣の人と会うことも少ない
子供がいないので仕事←家

○家の前の火曜日のつなかりがある。

○公民館での活動も広く周知する。習い事等 → 広報も

公民館が17時まで → 18時までになれば

より集まりやすい。

近郊地域に集まる場がない。あつていい。

自治会(学生) = コレに近しい
→ 東部自治会 → 10月頃
→ 東部自治会 → 10月頃
→ 東部自治会 → 10月頃

11-12月
10月頃
市役所
市役所
市役所